

第四章

倉

庫

第四章 倉庫

第一節 通則

○倉庫營業規程 (昭和二、四社則第二號)

沿革 明治四四、八社則第六號
改正 昭和二〇、一一社告第三七〇號

昭和二一、一社告第五二二號

倉庫營業規程左ノ通定メ昭和二年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

目次
第一章 總則……………八〇三頁

第一條 準據規定

第二條 營業課目

第三條 營業驛、營業時間、料金

第四條 寄託條件ノ公告

第五條 規定ノ供覽

第六條 使用人ノ行爲ニ對スル會社ノ責任

第七條 貨物ノ入出庫其ノ他ノ作業

第八條 通知、催告ノ代用タル揭示

第四章 倉庫 第一節 通則

第二章 分置保管

第一節 受寄……………八〇六

第十四條 寄託ヲ受ケサル貨物

第十五條 寄託ノ申込、寄託申込書ノ記載事項

第十六條 貨物一口ノ制限

第十七條 貨物提供ノ場所、日時ノ指定

第十八條 貨物ノ検査

第十九條 貨物提供後ノ寄託拒絶、寄託拒絶貨物ノ處分

第二十條 寄託申込ナキ留置貨物ノ處分

第二十一條 寄託契約ノ成立

第二十二條 著後寄託ノ場合ニ於ケル權利義務ノ歸屬

第二十三條 寄託申込書ノ記載ニ對スル寄託者ノ責任

第二十四條 貨物ノ現狀證明

第二十五條 火災保險

第二十六條 證券ヲ以テスル貨物ノ提供

第二節 貨物預リ書、倉荷證券……………八一〇

第二十七條 書證券ノ交付、著後寄託契約成立後ノ運送書證券ノ效力

第二十八條 書證券ノ記載ニ對スル會社ノ責任

第二十九條 名義變更、貨物預リ書ノ倉荷證券ト

ノ引換

第三十條 名義變更、倉荷證券ノ書換又ハ分割

第三十一條 書證券ノ再交付

第三十二條 口添證

第三節 保管……………八一

第三十三條 保管場所ノ種別

第三十四條 保管期間、保管期間ノ延長

第三十五條 賠償責任、滅失、毀損ノ通知

第三十六條 滅失、毀損ニ因ル損害ノ賠償額

第三十七條 種類、品質ノ相違セル貨物ノ處分

第三十八條 變取等ノ虞アル貨物ノ處分

第三十九條 保管期間滿了後ノ貨物ノ處分

第四十條 換價其ノ他ノ處分ヲ爲シタル場合ノ處理

理

第四十一條 點檢、見本ノ摘出、改装、保存ニ必要ナル處分

第四十二條 保管場所ノ變更、改装其ノ他ノ處分

第四節 出庫……………八一四

第四十三條 倉敷料、入出倉手数料收受ノ時期

第四十四條 留置權、先取特權

第四十五條 貨物預リ書交付貨物ノ出庫

第四十六條 倉荷證券交付貨物ノ出庫

第四十七條 貨物ノ引取

第四十八條 寄託契約ノ終了

第四十九條 貨物ノ搬出、留置貨物ノ處分

第五十條 賠償請求權ノ即時消滅

第三章 混合保管……………八一六

第五十一條 混合保管取扱

倉庫營業規程

第一章 總則

第一條 準據規定

南滿洲鐵道株式會社（以下會社ト稱ス）ノ倉庫營業ハ特別ノ規定又ハ契約アル場合ノ外本規程及之ニ附隨スル規定ニ依ル

第二條 營業課目

倉庫營業課目ハ左ノ如シ但シ其ノ範圍ハ之ヲ制限スルコトアルヘシ

一 分置保管ノ方法ニ依ル貨物ノ保管（以下分置保管ト稱ス）

二 混合保管ノ方法ニ依ル貨物ノ保管（以下混合保管ト稱ス）

三 倉庫寄託附帯ノ業務

第三條 營業驛、營業時間、料金

倉庫營業ヲ爲ス驛及倉庫料金ハ別ニ之ヲ定ム

倉庫營業時間ハ關係驛ニ之ヲ揭示ス

第四條 寄託條件ノ公告

料金其ノ他ノ寄託條件ノ制定、變更又ハ廢止ハ實施前關係驛ニ之ヲ公告ス
前項ノ公告ハ料金ヲ増加スル場合ニハ實施前一箇月以上、貨主ノ其ノ他ノ負擔ヲ加重スル場合ニハ實施前一週間以上之ヲ爲ス

前二項ノ規定ハ不可抗力其ノ他已ムヲ得サル事由アル場合ニハ之ヲ適用セス

第五條 規定ノ供覽

料金其ノ他寄託ニ關スル規定ハ之ヲ關係驛ニ常備シ貨主及公衆ノ閱覽ニ供ス

第六條 使用人ノ行爲ニ對スル會社ノ責任

會社ハ其ノ使用人カ寄託ニ關シ爲シタル職務上ノ行爲ニ付其ノ責ニ任ス

第七條 貨物ノ入出庫其ノ他ノ作業

貨物ノ入出庫其ノ他ノ作業ハ會社ニ於テ之ヲ爲ス但シ會社カ貨主ヲシテ作業ヲ爲サシムル必要アリト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項但書ノ場合ニ於テ入出庫其ノ他ノ作業ヲ爲ス人夫ハ會社ノ認許シタル者ニ限ル

貨主カ入出庫其ノ他ノ作業ヲ爲シタル場合ニ於テ他ニ損害ヲ及ボシタルトキハ之ヲ賠償スル責ニ任ス

第八條 通知、催告ノ代用タル揭示

寄託者又ハ倉荷證券所持人ニ通知又ハ催告ヲ發スヘキ場合ニ於テ會社ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リ之ヲ發スルコト能ハス又ハ之ヲ發スルコト著ク困難ナルトキハ關係驛ニ於ケル揭示ヲ以テ其ノ通知又ハ催告ニ代フ

第九條 引渡請求權ノ消滅時効、所有權ノ取得

貨物又ハ其ノ換價金ノ引渡請求權ハ保管期間滿了ノ日ノ翌日より起算シ一箇年ヲ、若保管期間滿了前貨物ヲ換價シタルトキハ其ノ日ノ翌日より起算シ一箇年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅ス

前項ノ規定ニ依リ引渡請求權カ消滅シタル場合ニハ會社ハ其ノ手ニ存スル貨物ノ所有權ヲ取得ス

第十條 賠償請求權ノ消滅時効

貨物ノ滅失又ハ毀損ニ因ル損害ノ賠償請求權ハ本規程ニ特別ノ定アル場合ノ外保管期間カ滿了シタルカ又ハ滿了スヘカリシ日ノ翌日より起算シ一箇年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅ス但シ其ノ滅失又ハ毀損カ會社ノ故意又ハ重大ナル過失ニ基因スルコトノ證明セラレタルトキハ時効期間ヲ三箇年トス

第十一條 拂戻又ハ支拂請求權ノ消滅時効

料金、費用其ノ他寄託ニ關シ會社カ收受シタル金銭ニ對スル貨主ノ拂戻請求權ハ之ヲ收受シタル日ノ翌日より起算シ一箇年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅ス

料金、費用其ノ他寄託ニ關シ會社カ收受スヘキ金銭ニ對スル會社ノ支拂請求權ハ之ヲ收受スヘカリシ日ノ翌日より起算シ一箇年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅ス

第十二條 擔保ノ返還、擔保物ノ所有權ノ取得

倉荷證券ノ再交付、貨物又ハ其ノ換價金ノ引渡ノ場合ニ於テ倉荷證券所持人ヨリ提供セラレタル擔保ハ倉荷證券カ提出セラレルカ又ハ其ノ形態若ハ效力ノ失ハレタル事實ニ付證明カ爲サレタル場合ノ外第九條ノ規定ニ依リ倉荷證券所持人ノ權利カ消滅スル迄ハ之ヲ返還セス

第九條ノ規定ニ依リ倉荷證券所持人ノ權利カ消滅シタル後六箇月以内ニ前項ノ擔保ノ返還請求ナキトキハ會社ニ於テ其ノ所有權ヲ取得ス

第十三條 準據法

本規程ニ定メナキ事項ニ關シテハ日本商法、民法及其ノ附屬法令ノ規定ニ準據ス

第二章 分置保管

第一節 受 寄

第十四條 寄託ヲ受ケサル貨物

會社ハ左ノ貨物ノ寄託ヲ受ケス

- 一 其ノ保管カ法令ノ規定、公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ニ反スルモノ
- 二 高價品

三 危險品其ノ他危害又ハ損害ヲ他ニ及ホス虞アルモノ

四 臭氣ヲ發シ又ハ不潔ナルモノ

五 變質又ハ減量シ易キモノ

六 會社カ料金及費用ノ保障ニ不充分ナリト認ムルモノ

七 其ノ他會社カ保管ニ適セスト認ムルモノ

前項第二號乃至第五號ノ貨物ト雖特別ノ設備アルトキハ之カ寄託ヲ受クルコトアルヘシ

第十五條 寄託ノ申込、寄託申込書ノ記載事項

貨物ヲ寄託セムトスル者ハ寄託申込書ヲ以テ豫メ當該驛ニ其ノ申込ヲ爲スコトヲ要ス但シ會社ノ鐵道ニ依リ運送セラルル貨物ヲ著驛ニ寄託（以下著後寄託ト稱ス）セムトスルトキハ此ノ限ニ在ラス

寄託申込書ハ別ニ定ムル式紙ヲ用キ之ニ左ノ事項ヲ記載シ寄託者記名捺印スルコトヲ要ス

一 寄託申込書作成ノ年月日

二 寄託者ノ住所又ハ營業所及氏名又ハ商號

三 貨物ノ種類、品質、數量及其ノ荷造ノ種類、箇數並記號

四 貨物ノ價格

五 保管場所ノ種別

六 保管ノ期間ヲ定ムルトキハ其ノ期間

七 倉荷證券ノ交付ヲ請求スルトキハ其ノ旨

八 特約アルトキハ其ノ事項

九 其ノ他會社カ必要アリト認ムル事項

寄託申込書ニハ前項以外ノ事項ヲ記載スルコトヲ得ス

第十六條 貨物一口ノ制限

會社ハ一口ノ貨物ノ種類、數量其ノ他ニ付制限ヲ附スルコトアルヘシ

第十七條 貨物提供ノ場所、日時ノ指定

會社ハ寄託ノ申込ヲ承諾シタルトキハ貨物提供ノ場所及日時ヲ指定ス

前項ノ規定ニ依リ指定セラレタル日時ヲ經過スルモ貨物ノ全部カ指定セラレタル場所ニ提供セラレサルトキハ會社

第十八條 貨物ノ検査

會社ハ何時ニテモ貨物ノ内容、重量、箇數其ノ他ニ付検査ヲ爲スコトヲ得
會社ハ貨物ノ内容ノ検査ヲ爲サムトスルトキハ已ムコトヲ得サル場合ノ外貨主ノ立會ヲ求ム
検査ノ結果寄託申込書ノ記載ノ相違ナキコトカ判明シタル場合ニハ會社ハ検査ニ要シタル費用ヲ負擔シ且之カ爲生
シタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第十九條 貨物提供後ノ寄託拒絶、寄託拒絶貨物ノ處分
荷造ノ不完全ナル貨物、検査ノ困難ナル貨物、寄託申込書ノ記載ト相違シタル貨物其ノ他保管ニ適セスト認めタル
貨物ハ提供アリタル後ト雖會社ハ之カ寄託ヲ拒絶スルコトアルヘシ寄託ヲ拒絶シタルニ因リ貨主ニ損害ヲ生スルコ
トアルモ會社ハ之カ賠償ノ責ニ任セス

前項ノ規定ニ依リ寄託ノ拒絶セラレタル貨物ハ遲滞ナク之ヲ搬出スルコトヲ要ス若遲滞ナク搬出セラレサルトキハ
會社ハ以後留置料ヲ收受シ寄託拒絶後三箇月ヲ經過スルモ搬出セラレサルトキハ適當ノ方法ニ依リ之ヲ換價スルコ
トアルヘシ

貨主ハ貨物ヲ寄託拒絶後遲滞ナク搬出セサル爲他ニ及ホシタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

貨物ノ處分及處分ヲ爲シタル場合ノ處理ニ關スル第三十八條及第四十條ノ規定ハ本條ノ留置貨物ニ付之ヲ準用ス
第二十條 寄託申込ナキ留置貨物ノ處分
貨主カ寄託ノ申込ヲ爲サスシテ留置シタル貨物ヲ發見シタルトキハ會社ハ遲滞ナク之ヲ搬出スヘキ旨ノ催告ヲ發シ
以後留置料ヲ收受ス

貨主ハ貨物ヲ留置シタル爲他ニ及ホシタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス
貨物ノ處分及處分ヲ爲シタル場合ノ處理ニ關スル第三十八條乃至第四十條ノ規定ハ本條ノ留置貨物ニ付之ヲ準用ス

第二十一條 寄託契約ノ成立

寄託契約ハ會社カ保管ヲ爲スコトヲ約シ其ノ貨物ヲ受取ルニ因リテ成立ス但シ著後寄託ノ場合ニハ貨物ノ入庫ヲ爲
スニ因リテ成立ス

第二十二條 著後寄託ノ場合ニ於ケル權利義務ノ歸屬

著後寄託ノ委託アル貨物ノ貨物引換證所持人ハ寄託契約成立ノ時以後會社ニ對シ倉荷證券所持人ノ權利義務ヲ有ス
著後寄託ノ委託アル貨物ノ荷受人ハ寄託契約成立ノ時以後會社ニ對シ寄託者ノ權利義務ヲ有スルモノト推定ス

第二十三條 寄託申込書ノ記載ニ對スル寄託者ノ責任

寄託者ハ寄託申込書ノ記載ニ付其ノ責ニ任ス
第二十四條 貨物ノ現狀證明
寄託者又ハ倉荷證券所持人ノ請求アルトキハ會社ハ證明手数料ヲ收受シ何時ニテモ貨物ノ内容及性質、重量、長、
容積、箇數其ノ他ノ現狀ニ就キ證明ヲ爲スコトアルヘシ

第二十五條 火災保險

倉庫營業驛ニ保管中ノ受寄貨物ニ對シテハ別ニ定ムル所ニ依リ寄託者ノ爲ニ會社ニ於テ適當ト認ムル保險會社ノ火
災保險ニ付ス

第二十六條 證券ヲ以テスル貨物ノ提供

貨物ヲ火災保險ニ付シタル場合ニハ保險ニ關スル一切ノ事項ニ付テハ會社ト保險會社トノ間ニ於ケル約定ニ依ル
貨主カ鐵道、船舶其ノ他ノ運送機關ニ依リ倉庫營業驛所在地ニ到著シタル貨物ヲ寄託セムトスルトキハ會社ノ承諾
シタル場合ニ限り貨物引換證、船荷證券其ノ他之ニ代ルヘキ證券ノ提出ヲ以テ貨物ノ提供ニ代フルコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ證券ノ提出アリタルトキハ會社ハ貨主ノ費用ヲ以テ貨物ヲ引取り之カ入庫ヲ爲ス

第二節 貨物預り書、倉荷證券

第二十七條 書證券ノ交付、著後寄託契約成立後ノ運送書證券ノ效力

貨物ノ寄託ヲ引受ケタルトキハ會社ハ貨物預り書ヲ交付シ又ハ寄託者ノ請求ニ依リ倉荷證券ヲ交付ス

寄託ノ申込カ代理人ニ依リ爲サレタルトキハ會社ハ寄託者ヨリ反對ノ申出アル場合ノ外其ノ代理人ニ貨物預り書又

ハ倉荷證券ヲ交付ス

貨物預り書又ハ倉荷證券ハ貨物一口ニ付一通トス

著後寄託貨物ノ貨物運送受託書又ハ貨物引換證ハ寄託契約成立ノ時以後寄託ニ關シ之ヲ貨物預り書又ハ倉荷證券ト看做ス

第二十八條 書證券ノ記載ニ對スル會社ノ責任

會社ハ貨物ノ内容及性質ニ付テハ第二十四條ノ規定ニ依リ之カ證明ヲ爲シタル場合ノ外貨物預り書又ハ倉荷證券ノ記載ニ對シ其ノ責ニ任セス

會社ハ荷送人カ貨車積込ヲ爲シタル著後寄託貨物ノ重量、長、容積又ハ箇數ニ付テハ第二十四條又ハ會社鐵道運送規程第九十八條ノ規定ニ依リ之カ證明ヲ爲シタル場合ノ外貨物運送受託書又ハ貨物引換證ノ記載ニ對シ其ノ責ニ任セス

前二項ノ規定ハ會社ノ誤記ニ付之ヲ適用セス

第二十九條 名義變更、貨物預り書ノ倉荷證券トノ引換

寄託者ハ書證券作成手数料ヲ支拂ヒ貨物預り書ヲ當該驛ニ提出シテ寄託者ノ名義變更又ハ貨物預り書ノ倉荷證券トノ引換ヲ請求スルコトヲ得

第三十條 名義變更、倉荷證券ノ書換又ハ分割

倉荷證券所持人ハ書證券作成手数料ヲ支拂ヒ倉荷證券ヲ當該驛ニ提出シテ寄託者ノ名義變更、倉荷證券ノ書換又ハ分割ヲ請求スルコトヲ得

第三十一條 書證券ノ再交付

貨物預り書又ハ倉荷證券カ滅失シタルトキハ寄託者又ハ倉荷證券所持人ハ書證券作成手数料ヲ支拂ヒ當該驛ニ之カ再交付ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ場合ニハ倉荷證券ノ形態若ハ效力ノ失ハレタル事實ニ付證明カ爲サルルカ又ハ會社ノ相當ト認ムル擔保カ提供セララルニ非サレハ會社ハ倉荷證券ノ再交付ヲ爲サス

第三十二條 口添證

倉荷證券ニ依リテ貨物ヲ質入シタルトキハ會社ト質權者トノ間ニ特約アル場合ニ限り其ノ質權者ノ口添證ヲ以テ倉荷證券ニ代フルコトヲ得

第三節 保 管

第三十三條 保管場所ノ種別

貨物ハ之ヲ屋内ニ保管ス但シ會社ニ於テ屋内保管ニ適セスト認ムルモノハ之ヲ屋外ニ保管ス

會社ハ屋内保管ニ適スル貨物ト雖特ニ認ムルモノニ限り寄託者ノ請求ニ依リ之ヲ屋外ニ保管ス

第三十四條 保管期間、保管期間ノ延長

貨物ノ保管期間ハ寄託契約成立ノ日ヨリ起算シ六箇月以内トシ特ニ保管期間ヲ定メサルトキハ之ヲ六箇月トス但シ期間滿了ニ至リ會社ノ承諾ヲ得テ之カ延長ヲ爲スコトヲ得

保管期間ノ延長ヲ爲サムトスルトキハ寄託者又ハ倉荷證券所持人ハ貨物預リ書又ハ倉荷證券ヲ提出シ且料金、費用其ノ他寄託ニ關シ會社ニ對シテ生シタル債務ノ辨濟ヲ爲スコトヲ要ス

第三十五條 賠償責任、滅失、毀損ノ通知

- 會社ハ貨物ノ寄託引受ノ時ヨリ引渡ノ時迄ノ間ニ生シタル其ノ滅失又ハ毀損ニ因ル損害ヲ賠償スル責ニ任ス但シ其ノ滅失又ハ毀損カ左ノ原因ニ基因スルトコトヲ證明シタルトキハ此ノ限ニ在ラス
- 一 天災、事變、官憲ノ處分、防痙、氣候、強盜其ノ他ノ不可抗力
 - 二 貨物ノ性質又ハ瑕疵、荷造又ハ記號ノ不完全
 - 三 火災、爆發、濕氣、浸水、鼠害、蟲害但シ會社ノ故意又ハ重大ナル過失ニ基キタルモノヲ除ク
 - 四 屋外保管ノ場合ニハ前各號ノ外雨、露、霜、雪其ノ他屋外保管ニ特有ナル危險
 - 五 前各號ノ外會社ノ故意又ハ過失ニ基カサル事由

貨物ノ滅失又ハ毀損ヲ發見シタルトキハ會社ハ遲滞ナク寄託者又ハ倉荷證券所持人ニ其ノ旨ヲ通知ヲ發ス

第三十六條 滅失、毀損ニ因ル賠償額

貨物ノ滅失又ハ毀損ニ因ル損害ノ損害額ハ滅失又ハ毀損發生當時ノ、其ノ發生ノ時期不明ナルトキハ發見當時ノ當該驛所在地ニ於ケル同種類、同品質ノ貨物ノ市場價格ニ依リ之ヲ定ム

第三十七條 種類、品質ノ相違セル貨物ノ處分

貨物ノ種類又ハ品質カ寄託申込書ノ記載ト異ルコトヲ發見シタルトキハ會社ハ寄託者又ハ倉荷證券所持人ニ出庫ノ催告ヲ發スルコトアルヘシ

前項ノ催告發送後遲滞ナク出庫カ爲サレサル貨物ニ對シテハ會社ハ催告發送ノ時以後四倍ノ倉敷料ヲ收受シ催告發

送後三箇月ヲ經過スルモ出庫カ爲サレサルトキハ適當ノ方法ニ依リ之ヲ換價スルコトアルヘシ

第三十八條 變敗等ノ處アル貨物ノ處分

腐敗、變質其ノ他ノ事由ニ因リ貨物カ保管ニ適セス若ハ他ニ損害ヲ及ホス處アリト認メタルトキ又ハ貨物ノ價格カ料金、費用其ノ他寄託ニ關シ生シタル會社ノ債權ノ保障ニ不充分ナリト認メタルトキハ會社ハ寄託者又ハ倉荷證券所持人ニ出庫ノ催告ヲ發シ催告發送後遲滞ナク出庫カ爲サレサルトキハ適當ノ方法ニ依リ貨物ノ換價其ノ他ノ處分ヲ爲スコトアルヘシ

前項ノ場合ニ於テ已ムコトヲ得サル事由アルトキハ會社ハ催告ヲ發セスシテ前項ノ處分ヲ爲スコトヲ得寄託者又ハ倉荷證券所持人ハ第一項ノ催告發送後遲滞ナク出庫ヲ爲ササルニ因リテ他ニ及ホシタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第三十九條 保管期間滿了後ノ貨物ノ處分

保管期間滿了ノ場合ニ於テ出庫又ハ保管期間ノ延長カ爲サレサルトキハ會社ハ寄託者又ハ倉荷證券所持人ニ出庫ノ催告ヲ發シ保管期間滿了ノ時以後二倍ノ倉敷料ヲ收受ス

前項ノ催告發送後三箇月ヲ經過スルモ出庫又ハ保管期間ノ延長カ爲サレサルトキハ會社ハ適當ノ方法ニ依リ貨物ヲ換價スルコトアルヘシ

第四十條 換價其ノ他ノ處分ヲ爲シタル場合ノ處理

前三條ノ規定ニ依リ貨物ノ換價其ノ他ノ處分ヲ爲シタルトキハ會社ハ遲滞ナク寄託者又ハ倉荷證券所持人ニ其ノ旨ヲ通知ヲ發ス

貨物ノ換價ヲ爲シタルトキハ會社ハ其ノ換價金ヲ以テ料金、費用其ノ他寄託ニ關シ會社ニ對シテ生シタル債務並換

價ノ爲要シタル費用ノ辨濟ニ充當シ過剩アルトキハ寄託者又ハ倉荷證券所持人ニ拂戻シ不足アルトキハ寄託者ヨリ追徴ス

第四十一條 點檢、見本ノ摘出、改装、保存ニ必要ナル處分

寄託者又ハ倉荷證券所持人ハ貨物預リ書又ハ倉荷證券ヲ當該驛ニ提出シ會社ノ承諾ヲ得テ寄託物ノ點檢、見本ノ摘出、改装又ハ保存ニ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

前項ノ處分カ爲サレタル場合ニ於テ貨物ノ價格其ノ他ニ影響アリト認メタルトキハ會社ハ貨物預リ書又ハ倉荷證券ニ必要事項ヲ記載ス

第四十二條 保管場所ノ變更、改装其ノ他ノ處分

貨物ノ保管又ハ保存上必要アリト認メタルトキ又ハ貨主ノ請求アリタルトキハ會社ハ貨主ノ費用ヲ以テ貨物ノ保管場所ノ變更、改装其ノ他ノ處分ヲ爲スコトアルヘシ

前項ノ處分ヲ爲シタルトキハ會社ハ遲滞ナク寄託者又ハ倉荷證券所持人ニ其ノ旨ノ通知ヲ發シ必要アリト認ムルトキハ貨物預リ書又ハ倉荷證券ヲ提出セシメ之ニ必要事項ヲ記載ス

第四節 出 庫

第四十三條 倉敷料、入出庫手數料收受ノ時期

倉敷料及入出庫手數料ハ特別ノ定アル場合ノ外出庫ノ際之ヲ收受ス

第四十四條 留置權、先取特權

會社ハ前條ノ債權其ノ他寄託ニ關シ生シタル會社ノ債權ニ付貨物ノ上ニ留置權及先取特權ヲ有ス

第四十五條 貨物預リ書交付貨物ノ出庫

寄託者カ貨物ノ全部又ハ一部ノ出庫ヲ爲サムトスルトキハ貨物預リ書ニ出庫スヘキ數量ヲ記入シ之ヲ當該驛ニ提出シテ其ノ請求ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ會社ハ受領ノ證ヲ徵シテ貨物ノ引渡ヲ爲シ全部出庫ノ場合ニハ貨物預リ書ヲ回收シ一部出庫ノ場合ニハ之ニ貨物ノ殘部ノ數量ヲ記入シテ寄託者ニ返還ス

第四十六條 倉荷證券交付貨物ノ出庫

倉荷證券所持人カ貨物ノ全部又ハ一部ノ出庫ヲ爲サムトスルトキハ倉荷證券ニ出庫スヘキ數量ヲ記入シテ記名捺印シ之ヲ當該驛ニ提出シテ其ノ請求ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ會社ハ全部出庫ノ場合ニハ倉荷證券ト引換ニ、一部出庫ノ場合ニハ倉荷證券ニ貨物ノ殘部ノ數量ヲ記入シテ證印ヲ捺捺シ之ヲ其ノ所持人ニ返還シ貨物ノ引渡ヲ爲ス

倉荷證券カ滅失シタルトキハ會社ハ其ノ形態若ハ效力ノ失ハレタル事實ニ付證明カ爲サルルカ又ハ會社ノ相當ト認ムル擔保カ提供セラレタル場合ニ限り貨物ノ引渡ヲ爲ス

第四十七條 貨物ノ引取

寄託者又ハ倉荷證券所持人ハ出庫手續終了後遲滞ナク貨物ノ引取ヲ爲スコトヲ要ス若遲滞ナク其ノ引取ヲ爲ササルトキハ會社ハ出庫手續終了ノ日ノ翌日ヨリ二倍ノ倉敷料ヲ收受ス

第四十八條 寄託契約ノ終了

寄託契約ハ貨物ノ引渡、滅失其ノ他ノ事由ニ因リ會社カ貨物ノ占有ヲ失ヒタルニ因リテ終了ス

第四十九條 貨物ノ搬出、留置貨物ノ處分

貨物ノ引取ヲ爲シタルトキハ貨主ハ遲滞ナク之ヲ搬出スルコトヲ要ス

